

# 平井川流域連絡会（第8期 前期）第3回全体会 議事録(案)

日時：平成27年3月23日（月） 午後7時～8時30分  
場所：あきる野ルピア3階 ルピア産業情報研修室

委員出席者（敬称略）：

座長

副座長

公募委員 6名

行政委員 5名

次第

1. 開会

2. 議題

- (1) 第8期前期活動について
- (2) 平成28年度整備工事について
- (3) 第8期後期予定について
- (4) その他

3. 閉会

配布資料

1. 次第
2. 第3回小委員会議事概要
3. 第8期活動予定表
4. 平成28～32年度施工予定区間平面図

1. 開会

○座長

皆さん、こんばんは。まだ来られていない委員の方がいらっしゃるようですが、定刻となりましたので、これから第8期の第3回全体会を開催させていただきます。年度末ご多忙の中、また花粉が飛び散る中、お集まりいただきましてありがとうございます。今回、第8期の前期の最後ということになりますので、今日

の議事次第にございます通り、前期の活動のまとめの報告や後期の予定をご議論いただければということで、議題を設定させていただいております。最後、(4)のその他でございますが、前期最後なので委員の皆様から一言ずついただくかなと思っておりますので、よろしく願いいたします。

それでは、早速開会させていただきます。2の議題(1)第8期前期活動について、事務局からお願いいたします。

## 2. 議題

### (1) 第8期前期活動について

○事務局      事務局を務めます、●●です。よろしく願いします。

それではまず、お配りしている資料の確認をさせていただきます。次第と書いてあるペーパーが1枚、その次に第3回小委員会の議事概要、それから同じくホチキス留めで前期活動についてというもの、最後がカラーのA3の取扱注意と書いてある図面です。大丈夫でしょうか。

それでは、一番最初に配った議事概要、前回1月21日に開催した第3回小委員会の議事概要が書いてあります。それぞれ説明はしませんが、もしこんな発言をしていないよとか、ニュアンスが違うということがございましたら、あとででもかまわないので事務局に申し出てくれればと思います。

ではその次のホチキスのペーパーです。前期活動についてということで、A4の1枚にまとめてあります。全部で全体会が、今日を含めて3回行って、途中9月、11月、1月に小委員会も3回行って、今日を含めて全体で6回開催したことになりました。

まず1回目から全体会を2回続けてやったわけですが、今までの第7期までの活動を振り返り、今回第8期はどんなことをするかということでワークショップもさせていただいたりしております。途中、生物調査の結果や報告をさせていただき、第1回の小委員会の

ところにも書いてありますように、最終的には草刈りや維持管理方法の検討を一つのテーマとして今後やっていこうということになったと思います。それで、2回目、3回目の小委員会的时候には、27年、28年の整備工事、それから生物調査の途中経過を報告させていただいて、今回に至ってということです。

その下の四角には、一度皆様と共催ということで、暑い中でしたが、8月30日に瀬戸岡御堂橋の上流右岸のオオブタクサの駆除作業を行いました。花が満開というか、これ以上放っておいたら種が落ちてまた再生してしまうというぎりぎりの日付でしたので、暑い中、刈り取りをしました。本当はもっと面積をやりたかったのですが、半日ではなかなか難しく、半分から3分の2ぐらいの面積しかできませんでした。

以上が、前期の活動、1年間の活動概要です。

○座長 前期の活動のあらましですが、ご報告させていただきました。特にご意見やご質問はございますでしょうか。

ないようであれば、今期の話についてはご相談によるという話で、前回ご説明をしていなかった平成28年度の整備工事ということで、前回の議事録を見ていただくと、28年度は実際2カ所で予定していて、前回1月にはまだ手をつけていないところとして、菅瀬橋の下流、瀬戸岡用水堰のかなり上流の工事については前回ご説明させていただいたので、今回A3で資料を用意させていただいた上流側の28年度の整備工事について、ご報告をさせていただきたいと思います。

それでは、この工事の説明をよろしくお願いします。

## (2) 平成28年度整備工事について

○事務局 前回、28年度以降というかたちで、現在検討を進めているので基本計画ができあがった時点でご説明をさせていただきますということで終わっていたのですが、今回そのへんが見えてきましたので、ご説明をさせていただきます。

こちらのA3判のカラーの資料で説明させていただ

きます。見ていただきますと、右側が下流側になって、左手に日の出橋、真ん中へんに圏央道、それと色がちょうどなくなっているところが現在施工をやっている、26年度から27年度末まで施工を予定している観音橋の上下流の工事の施工区間になっています。

28年度から、こちらについて4カ年かけて工事を予定しているのですが、まず28年度施工区間として、日の出橋の下流部分、右岸側の施工を170m予定しております。こちらの施工を行って、対岸側が搬入路がないので、こちらの工事時点でまず対岸側への搬入路を併せてやる。それができあがった時点で、次年度、29年度に、26年度から27年度区間の上流側、左岸のところを行い、30年度に搬入路をそれぞれ利用しながら日の出橋の下流側、左岸のほうに施工を移していくということで施工を完了させて、1カ年間は空くのですが、そのところで32年度、堰が現在あるところですが、堰の改良を行うということで一度撤去して作り直しを行います。その部分が32年度施工で、150m区間の施工をいま考えています。

トータル年数としては5カ年かかるのですが、施工時期としては4カ年といったことで事業を行っていくと考えています。概要としては以上です。

○座長 事務局の説明は以上です。対応について、何かございますでしょうか。

○市民委員 工事の主な内容としては護岸の改修工事ということで、それ以外に圏央道の下流側の区間に関しては用水路の付け替えがあるということですね。

それから、管理用通路が日の出橋の下流の左岸にはないので、そこは設定するというかたちになるのでしょうか。そのへんはまだこれから検討ということですか。

○事務局 断面的な細かいところについては今やっているところで、すいません、もう年度末なのですが、いま最終

的な図面を仕上げているところで、そこまでの詳しい……。右岸側には現状市道があるので、そこと併せて管理用通路を作って、左岸にも同様に付けていくように、下流のほうにはあるので、そこから継続して付くようなかたちではできるのではないかと思います、最終的な報告は次回以降させていただくことになるかなと思います。

○市民委員      あと、圏央道のちょっと上のところにある堰などは、特に大きく変わる予定はないということですね。

○事務局      ここの堰ですか。

○市民委員      はい。

○事務局      堰は変わります。どうしてもここの縦断計画が、日の出橋のところの一部、図を見ていただいてもわかるように、だんだん上のほうが狭くなっていっています。そうすると、日の出橋のところからこのところで、その分流速を速めるために縦断勾配がちょっと急になります。そういったことで、現状の深さでは堰自体が機能しなくなるので、今回の縦断勾配に対応できるように作り直すかたちになると思います。

ですから、いまお話があったように左岸側の取水部分、あと観音橋の下流の右岸の畑になっているところですが、そっちのほうにも。

○市民委員      ごめんなさい、観音橋の下流の右岸。

○事務局      右岸の、堰の上流から取水を行っています。そういったところも含めていま対応を検討しています。

○市民委員      わかりました。

○座長      ほかにございますでしょうか。

○市民委員 通常、河川改修は下流のほうからやっていくのですが、この32年度が一番下流のところ、ここが遅くなっている理由と、このNo.253+10とNo.251の間はどうするのですか。

○事務局 32年度のところが、下流側の右岸のところの後回しになっているというのは、まず26、27年度区間がすでに下流のところにあるので、そこを継続せずに一回間を空けようと考えています。そういったところと、先ほどお話しした搬入路の設置というところを勘案して、一度日の出橋の上流区間のほうに行こうということで、この28年度施工区間を選ばせていただいています。それとこの部分で間が抜けているというのは、ここは堰の改良があるので、やはりどうしても左右岸いっぺんの工事になってしまいますが、やはり一つの構造物なので、一体させて施工をこなしていただきたいということで、今回50m延長区間だけ一部抜くようなかたちでいま考えているところです。

○座長 よろしいでしょうか。ほかにございますでしょうか。

○市民委員 日の出橋の上流のところ途中で切れていますが、日の出大橋の上流はどのへんまで、たとえば28年度や30年度は工事になるということですか。

○座長 上流側はどうですか。

○事務局 そうです。こちらの色がついているところまでというお話になってしまいますが。日の出橋自体を今回検討していますが、観音橋のように架け替えということをやらずに対応ができそうだとしたこと、そちらの補強などを含めて事業範囲、事業認可区間を勘案して、日の出橋のほぼほぼ斜めにかかっていますので、そのところの右岸側の影響範囲までと考えています。

○市民委員 影響範囲というのは。

○事務局            ぴったりはもちろんできないので、ある程度掘削や  
そういったところの、施工に対して影響する範囲とい  
うところで。

○市民委員        日の出橋と東平井橋は区間がすごく短いですね。

○事務局            上流の橋ですね。はい。

○市民委員        だから、すいぶん中途半端なところだなと、ちょっ  
と思ったものですから。あそこの上も、ちょっとごち  
ゃごちやしているところですね。

○事務局            事業認可の設定をしている区間という問題もあった  
もので。

○市民委員        わかりました。

○座長            根が切れているということではなく、ここまでとい  
うことで。ほかにございますか。ないようであれば。

ただ、2年後の話なので、また来年度の運営の中  
でもしご説明ができるようになり次第、またご説明させ  
ていただくということで、よろしく願いいたします。

それでは次に、後期の予定についてということで、  
お願いいたします。

### (3) 第8期後期予定について

○事務局            先ほどの前期の活動についてというペーパーを1枚  
めくっていただくと、後期の予定についてというペー  
パーがございます。それにしたがってご説明いたしま  
す。

来期、27年度は4回予定をしております。年度の当  
初、今年度も6月に第1回全体会を行ったわけですが、  
6月、それから最終的に今日やっている一番最後の全  
体会が4回目、5回目の全体会2回を予定していて、  
その間、だいたい3カ月に1回という予定で、9月、  
12月に小委員会という予定にしております。これは議

事の多さによるかと思いますが、こちらから途中で説明したいようなことがあるとなるとまた小委員会が増える可能性もありますが、いまのところ予定としてはこんな感じで大丈夫かなということです。

内容ですが、今年度続けてきた草刈りを含めた植生の回復や復活のようなお話をしなければいけないので、オオブタクサを中心としたものを一つ、それから今年度話題になったハリエンジュについてはこの夏の全体から始めて、夏の段階でどこにあるかということ进行调查し、いまでも植生の調査を行っていますが、それを具体的にどこに群落があるのかというようなことを調査して、全部はやりきれないと思うので、ではどこをターゲットにするかということをお願いしたい決め、それからあとは方法論ももまないといけないので、それを夏の段階に、皆様と小委員会で意見交換をしながら決めて、冬にはターゲットとした場所で、このやり方ということ、もしかしたらいくつかの方法を比較することも可能性としてはあるかと思っています。

秋、渇水期になってから、実施をしたいと思っています。そういうことで、夏の段階で何回か、こういうやり方で考えているという提案なり、もしくは委員からここでやったらどうかという提案もお見せできればと思っておりますが、そんな感じで進めていきたいなと思っています。

下のほうに現地での作業内容、オオブタクサを中心としたものを予定として書いていますが、先ほど説明した、今年度8月に行った、この時期は非常に暑くて、種が落ちる直前なので非常にリスクではありますが、一度刈ってしまえばあとからそれほど出てこないという時期なので、8月の半日ぐらいはやる時期ではあるかなと。今年度やったのと同じような内容です。

そういうことはありますが、もう3月も終わりですが、オオブタクサが芽を吹いていて、本当はいまごろやるのが一番いいのかもしれないのですが、明日やりましょうというような話にはできないと思うので、できれば4月、ちょっと伸びてきたときに抜き取り作業



をやったらどうかなど。これも瀬戸岡御堂橋の状況を見なければいけないのですが、たぶん全部刈り取れなかったところもあるし、刈り取ったところもたぶんいっぱい出ていると思うので、4月に一度皆さんで抜き取り作業をやりたいなというもくろみです。

その提案と、後期の議事を含めた内容についてはそういうことですが、ついでに言うと、4月はもう来月ですので、もし皆さんご賛同ということであれば日にちを決めなければいけないのですが、前回も土曜日か日曜日にやらせてもらいました。やはり平日となると非常に難しいかなと思っていて、土曜日か日曜日かなと思っていますが、4月19日の午前中は子どもの水辺で三角河原を見たりもするので、もしその午後、瀬戸岡御堂橋などでいかがかなというのを一つ提案でどうか。皆様の集まり具合にもよりますが。

○市民委員      ごめんなさい、いいですか。4月19日は変更になりました。4月26日に変更です。

続けていいですか。子どもの水辺で4月にオオブタクサを抜いているのは、5月になると水の中に入りたいので、がさがさをやるために5月はできないので4月にやっているのですが、オオブタクサを抜く時期としてはちょっと早いんです。抜いたあともまた出てくるというか、かなりまだ小さいので、5月になってから抜いても全然大丈夫です。

○事務局      そうですか。●●さんから電話をもらって、今日は出席されていないのですが、秋川で刈り取り作業をしているようです。(オオブタクサが)もう出てきたよと電話をもらって、いま抜くのが一番いいんだけどなというようなことを言っていました。

○市民委員      そうですか。これまでやってきたのは、だいたい5月の終わりから6月の初めに抜いています。ただ、6月の初めだともうかなり伸びていて、やったなという充実感はあるのですが、結構暑いし大変です。5月の

ほうが楽ですが、4月はまだちょっと早いと思います。

○事務局　　出きっちゃわないという感じですか。

○市民委員　　そうですね。それにちょっと見つけにくいし。もちろん出ているのですが、できないことはないと思いますが、試しに4月26日の子どもの水辺のあとからもできなくはないと思いますが、5月に入ってからでも間に合うと思います。

○座長　　4月はあまりお薦めではないという感じですか。

○市民委員　　これまでの経験だと、ちょっと早いかなと。桜の咲く時期が前後にずれるように芽生えもずれるので確実ではないのですが、4月中にやってしまわないと遅いということはありません。

○事務局　　そうですね。では、たとえばいまの4月26日の午後などでも、可能は可能ですか。

○市民委員　　ただ、ちょっと心配なのは、そのとき抜いたつもりであとから結構出てくるかなと。三角河原に関しては、4月の観察会のときに抜いて、6月にまた生活協同組合と一緒にやっています。4月は観察会のときにちょっと抜くだけなので、抜き切れていないせいもあるのですが、6月は抜いてもかなり出ています。そうすると、5月のほうがいいかなと思います。

○事務局　　5月17日は「がさがさ」でしたか。

○市民委員　　はい。

○事務局　　●●さんたちが大変でなければ、5月17日の午後とか。

○市民委員　　そうですね。

○市民委員 5月17日は漁協が川掃除をします。15～16人で上から下まで、午前中で全部やってしまいます。

○事務局 続けて午後というのはいないですか。(笑)

○市民委員 やれと言われても、そのとき一緒に午前中に集まって、そこらへんの場所を重点的にやるという感じだったらいいかなと思います。できたら、人数がいっぱいいたほうがいいと思います。

○事務局 でも、午前中は川掃除をされるんですよね。

○市民委員 上からずっと。子どもが来るからね。ボーイスカウトなども一緒になっているので、知らせるといって、そういうこともできないことはない。来るかどうかははっきりしないのですが、各委員会でいろいろな意見が出ているから、一つだけではなくていろいろなところをもう一回まとめられたほうがいいかなと思います。いまの話だと、5月17日が一番いいのかな。

○事務局 川掃除をする人もいてという感じですね。

○市民委員 そこらへんが難しいところですね。

○事務局 掃除の人を割いて、オオブタクサを抜いてと言われると、掃除の人が少なくなってしまうような……。掃除をしたいと思ったのといつか、集めるごみの量が減ったということだとまた。

○市民委員 あきる野市も一斉清掃があるでしょう。あれはいつか、決まっているでしょう？

○事務局 5月の最終までには。

- 市民委員      いつも最終週ですよ。今年でいうと 31 日ではないかと思いますが。
- 事務局          市の一斉清掃というのは、いずれも午前中ですか。
- 市民委員      そうですね。
- 市民委員      17 日の午後だと、漁協さんは厳しいですか。
- 市民委員      どうですか。
- 市民委員      17 日は子どもがくる。
- 市民委員      では、午後は。
- 市民委員      午後まで置いておく？
- 市民委員      午後にやる。
- 市民委員      午後にやるのか。その草取りに。
- 市民委員      草取りに来いと。この前、釣らせてやったから今度は。(笑)
- 市民委員      それは、隊長と団長に詰めてみます。
- 事務局          そうしたら、こっちの勝手なあれで申しわけないのですが、5 月 17 日の午後にできればという期待を持ちつつ。
- 市民委員      だめだったら、ほかのメンバーでもいいんですよ。
- 事務局          そうですね。それでも全然かまわないので。あまり欲をかいてしまうとね。
- 市民委員      ついでに将来的な理想ですが、こういうことが一斉

的な定期清掃のときにできれば一番いいわけですが、自治会にわれわれの活動などが伝わっていない。そこらへんのところが、これからの大きな課題かなと。結局ここのある団体だけでやっているの、一番いいのは自治会とかで、公園の草取りなどをいっぱいやってくれるんですよね。ぜひ川の近くはそうしてもらえればといいと思いますが。

○事務局           そうですね。PRの仕方も考えないといけませんよね。我々も時々清掃をやっているそばから、バーベキューをしながらごみを捨てるような人たちもいると、見て何とか思わないのかなと思いますけどね。

                  わかりました。それも今後の課題ということで。ちょっといま5月17日の午後ということで、いまの予定では全体会などを開かないのですが、そのために開く必要はないですよね。皆様で意見交換をしながら、いま仮に5月17日の午後ということで設定させていただいて、それまでの誰が来てもらえるとか、準備は皆様とメールで交換したりしながら固めていきたいと思っていますので、よろしくご協力をお願いいたします。

○座長             そうですね。そのぐらいの時期ならさほど問題ではないのですが、前回8月にやったときはめちゃくちゃ高くなっていたので、刈り取るのもすごく力がいりました。5月のその頃は、そもそもどのぐらいの状態、どういう道具でどのようにできるものなのか。それとも引き抜くだけなのか。

○事務局           引き抜くだけで大丈夫です。軍手さえあれば大丈夫だと思います。逆に何も使わないので、危なくもないし、子どもでも十分に。

○座長             鎌などを用意しなければいけないとすると、人数もある程度把握しておかないといけないと思ったのですが、あまりそういう心配をする必要もない時期ですか。わかりました。

前回も出た委員が参加していただけるのがベストですが、皆様のご都合もあるかと思いますので、また有志ということでやっていくことで、近くなったらもうちょっと詳しくご案内させていただく。出ていただける方に出ていただくかたちで、今後アレンジをして後日ご連絡申し上げるというふうに、現地の作業の一発目に関してはそのようにさせていただければと思います。

上の半分も、会議については今年度、前期に草刈りと植生の管理といったところをメインにさせていただいて議論をさせていただいたので、それを受けたことを考えているということで、議事内容には口頭でいま事務局からご説明しただけで何も具体的なものは入っていませんが、そういったものと、通例やらせていただいている生物調査の報告や、次年度以降の工事の説明といったものが適宜入ってくることになると思いますが、それ以外に何かこれをやったほうがいいのではないかというご意見があればおうかがいしたいと思いますが、何かございますか。

- 市民委員      先ほどのハリエンジュの話ですが、夏にハリエンジュの調査をするときに、専門家というか、ハリエンジュの経験のある人と一緒に現地を歩いてアドバイスをもらえると、だいぶ違うかなと思いますが。
- 座長            お心あたりでもありますか。
- 市民委員      そうですね、頼んで見ることは可能なので。
- 事務局        そうですか。
- 市民委員      その方がハリエンジュにどれだけ詳しいか、その人の知っている人とか。
- 事務局        できればご紹介していただければ。

- 市民委員 そのほうがいいかなと。
- 市民委員 5月17日の午後のオオブタクサをとるときですが、根枯らししないといけないものだから、ボーイスカウトのカブ隊という、小学校3年生から5年生までです。その子たちが来るのに継続してやっていることが一つあって、鎌倉まで歩いて行っています。初めから最後まで一日でやってしまうのではなくて何日かで、今度の日曜日にまたやるものだから、その日にできるかどうかを根回しに行かないといけないので、行って相談をしますが、スマートになったら西多摩建設事務所から要請書を出してもらえますか。正式に団員長の住所と名前はお知らせしますので。
- 事務局 それは可能です。要請書も出しますし、もしあれならご挨拶にも行きます。
- 市民委員 そうすれば大丈夫だと思います。
- 事務局 そうですか、ありがとうございます。
- 市民委員 この間も、川清掃はいつにするのという話で、●●さんには17日というのは決まっているのだけれども、まだ私のほうも発表する時期ではなかったものだから、その頃だなという言い方をしていました。ここのところあそこのダムも忙しくて、先週はスキーでやってきて、この間の土曜日はうちが子ども専用釣りをさせたものだから、「●●さん、今度の川清掃はいつ」という話になってやっていたので、そうであれば明日行って、できる、オーケーというのが出たら電話します。そうしたら正式に要請書を出してください。
- 事務局 わかりました。ありがとうございます。
- 座長 よろしくお願ひします。
- 市民委員 もう一つよろしいですか。こういう行事は大変いいことだと思いますが、先ほどから言っているように学

校に要請してポスターを張ってもらうとか、来るか来ないかはわからないけども、毎年そういうやり方をしていればだんだんそういうあれが広がっていくと思います。小学生だと責任面でちょっと怖いと思います。けがや何かがあるので非常に難しいけれど、参加できる方というかたちで中学校にポスターを張らせていただくというかたちで、地道に少しずつ地域の自治会の掲示板にもやってもいいかなと思います。

そうすると、こういうことをやっているのかというので、考えてみようかと。今回は難しいけれども、これから先の課題としてね。

○市民委員　それをマスコミに発表してもらいたいけどね。うちではもう3年前になるかな、ボーイスカウトの子たちが来て川清掃をしたときに、西多摩新聞に掲載したことがあります。あれを市の広報に載せてくれれば、東京都が言えば、各市はやってくれると思います。

○座長　先ほど来、我々の活動が閉じたものではなく、周りに協力するとか、周りにもっと喧伝するといった中で、そういった活動が定着していけばという趣旨で各委員の方からお話があると思います。どういう方法でやるのかとか、マスコミなり市さんの協力をどう仰げるのかは勉強させていただくとして、いろいろな方法でそれに向けた活動ができるようにというのは、座長として非常にいい話をいただいたと思うので、ちょっと検討させていただければと思います。

○市民委員　うちのほうも子どもが手伝いに来てくれるというのは、不法投棄について新聞に発表してやったのだけれども、相変わらずなかなか減らない。だからそういう機会をつかまえて、新聞発表をすれば、草取りをしているんだとか、ごみを掃除しているんだとかというのがわかってくる。

○市民委員　いまの関連でよろしいですか。いまのお話を聞いて



なるほどと思ったのですが、特にあきる野市は「生物多様性あきる野戦略」というのができて、清掃活動とはまたちょっと違った一つの活動なので、すぐに募集のポスターを張るのは難しいでしょうが、そういうことをやっていて、それはこういう意味ですというあたりから宣伝できるといいなど。5月のこれにいきなり公募でというのはなかなか大変だと思いますが、次の段階の準備ということで、生物多様性ということを出せば、あきる野市がいまやっていることはすごくコミットするのではないかと思います。

○市民委員　　あまりそういう生物多様性とかはたしかに専門的な方にご存じだと思いますが、あきる野市でこうやっているというのをバーンと出したら、逆にみんな引っ込んでんじゃうと思います。そこらへんのところもじっくり考えたらどうですか。

○座長　　あきる野戦略という話が出たのですが、たぶん●●委員がおっしゃったオオブタクサの駆除をするとか、外来種の駆除をするというのは、まさに元々あった在来種を守る、生物多様性を守るというのとリンクしていると思います。そういったところをリンクさせて宣伝したらどうかという意味でおっしゃられたんですね。

○市民委員　　そうですね。たしかに生物多様性という言葉がなかなか市民権を得ないというか、普通の人聞いても何のことだかさっぱりわからないということは確かにありますが、ただ少しずつ生物多様性というのが浸透してきてはいるし、あきる野は特にそういうのが回覧板で概要版のようなものが回ったんですかね。そういうこともあるので、むしろ逆になじみを持ってもらうような。

○市民委員　　いろいろな考えがありますが、僕は人を集めることが先（と思います）。そのために柔らかく集めないでだめかなと。

○座長

いろいろなご意見があるので、来年度の中で議論していく課題にしてもいいかなと思ったので、また議論させていただくということによろしいでしょうか。そのほかに来年度の後期の活動について、何かご意見はございますか。

ないようであれば、基本的にまず上の段の予定については、概ね3カ月、四半期に1回程度を目標として、いま言葉は入っていませんが、先ほど事務局で説明した話、これもまた、来年度の活動としてご提示するというのではなく、次回6月の第4回の全体会の議題がこうだと。いまいただいたご意見を反映して、一回一回の議題を決めていく。

たとえば6月の第4回全体会で話し合われて方向性が若干広がっていく可能性もございますので、特に1年間、毎回これをやるということをいまの段階では決めずに、まず第4回の全体会の議論の中で発表させていただくという方向で考えさせていただければと思います。

それから現地の作業については、5月17日という話が一つ出たので、その日の午後を中心としつつ、先ほど話があったボーイスカウトの方のご協力をいただくような要請やそれ以外の団体の方でも、その日に都合がいいよということであれば積極的に参加していただくような方向で今後調整させていただくことでやらせていただければと思います。よろしく願いいたします。

では、基本的な来期の予定はだいたいそういうイメージで進めさせていただくということで決めさせていただきますので、よろしく願いいたします。まだ時間はかなり早いのですが、本日用意した議題については、これで一通り終わりました。

最初に申し上げたように、今回が今年度、平成26年度最後の全体会ということでもございますので、今日お集まりの委員、公募の委員の方、行政委員の方を含めて、一言ずつ今年の感想や次期への取り組みとか、

何でもよろしいので、お言葉をいただければと思います。

○市民委員　　すいません、その前にちょっとよろしいでしょうか。前回公務というか、農業委員会があったので、欠席させてもらったのですが、その点でおたずねしたいことがいくつかあるのですが、よろしいでしょうか。

小委員会の議事概要の3ページの(2)のところ、平井川整備工事についての説明というところではありますが、当日の説明資料を送ってもらったのですが、御堂上用水堰の資料がないんです。これが全部ですが、ないんです。あと、ここに用水組合と近々協議の予定であると書いてありますが、いつ頃協議してもらえるのかおたずねしたいのと、ここに入る水は鯉川から水を引きたいと、私は直に聞いたわけではないのですが、聞いています。

もし鯉川からやるといって、川のところに側溝ではないけれども、用水をつくって水を持ってくるのかなという気がしますが、下用水堰の水の取り入れ口が台風で相当洗われてしまって、水が入らなくなってしまいました。新堰と我々は言っていますが、そこから入らなくなって、一番初めの堰から入れて、田んぼをつくる人が少なくなったからしょうがないだろうということで、道路の下のところを細工しながら、新堰から水が入るようなかっこうをして水を使っているのが現状です。

ということは、鯉川から持ってくることになるので、側溝が洗われてしまって水が流れなくなる可能性も、現実にはうん十年前の工事であるわけです。堰を見れば残っているからわかりますが、下の新堰からは水が入らなくなってしまいました。そういう現状があるので、前回、どんな説明をしたのか。それと、一番大事な資料が私の手元に……。

○事務局　　この2種類のペーパーがいていませんか。申しわけありません。

○市民委員　私がここに参加する意味が、これだけのために参加させてもらっているのです。一応そういうかたちで、質問をいくつかもらいました。

○座長　ちょっと整理させていただいていいですか。まず、資料をお渡ししていなかったのは申しわけございませんでした。

二つ目が、議事録の3ページの一番下の、「用水組合と近々協議の予定である」というのはいつ頃なのか。三つ目が、この部分の27年度の工事によって堰、水の源が鯉川から流れてくると確認をしているのですが、本当に水がちゃんと流れるのか。いま、答えが用意できれば答えていただく。

○市民委員　それと、もしそこが洗われたら、再度つくり直してもらえるのかどうか。

○座長　その点も含めて、答えられる範囲で答えて、もし材料がなければ後日まだ個別にご説明に上がるべきかなと思います。

○事務局　最初の2点について説明させていただきたいのですが、用水組合との協議ですが、去年と今年で基本的なところをまとめている段階で、来年度、詳細に入っていくのですが、それを詰めていく中で用水組合さんとお話ししながらできればと思っているところです。

鯉川の水に関してですが、去年委託で出させていだいたのですが、鯉川の水量を調査させていただいて、現状以上の水量を確保できるという結果を得ています。

○座長　今日答えられるのはそこまでですか。

○事務局　そうですね。3点目については、資料を洗い直して、用水の高さが計画高水から上であれば計画的には満足していると言えますが、その確認がまだとれないの

で、確認してからまたご報告させていただくかたちでも大丈夫ですか。

○市民委員　　もちろんいいのですが、もし堰が壊れたときには東京都で直してもらえるかどうかということです。実際、新堰のところは壊れているのは承知していますよね。

○事務局　　ごめんなさい。ちょっと知りませんでした。下用水のほうですね。

○市民委員　　下用水から水が入らない。いま使っていないというのではなく、入らないから使えないという状態で、直してもらえなくて、これから入れればいいやということで妥協したのかもしれないのですが、いま新堰ではなく本堰から水を入れているのが現状で、実際水みちができたたり、その他田んぼをつくらない人がいっぱいできたから、水はまあまあそんなことでできるのですが、そういう実績があるので、とりあえずオオブタクサを除去する反対側なので、ついでにこの場所を、水路は残っているので見てください。

○座長　　いま担当が申し上げたように、現場を確認できていない部分もあるので、現地を見させていただいて個別にうちの担当との間で情報交換をさせていただいて、解決策を見出していくという方向でよろしいでしょうか。

○市民委員　　結構です。

○座長　　資料をお渡ししていなくて申しわけありませんでした。それではよろしいですか。その他、これ以外になれば、先ほど私が申し上げかけた、皆様一言ずつということでお話しいただきたいと思います。

#### (4) その他

○座長　　まず座長からですが、この1年、あっという間に終

わってしまったなど。今回、第8期は今年度立ち上げたので、従前からの委員もいらっしゃいますし、新しく何名かの公募委員も参加された。また別の方向でいろいろ議論していただきましたが、こちらの進め方もブレインストーミングというか、皆さんにもご意見を出していただきながら会を進めていきたい。従前の進め方を若干変えるような試みもさせていただきました。その中で、植栽の取扱い、外来種の駆除といったところを今年度は課題ということで大きくピックアップされて、夏の暑い盛りに私も初めてオオブタクサを見て関わらせていただきましたが、そういった貴重な体験もさせていただきました。平井川の全域を一気に理想的な状況にするということとはなかなか難しい中で、少しずつ委員の皆様と現実とその川をよくしていこうという活動ができた意味では、収穫の多い年だったと思っております。

ただ、先ほど来ご意見があるように、またわれわれの活動がわれわれの中だけで閉じないように、もうちょっと外に打って出るべきだろうというご意見もいくつかいただいておりますので、来期についてはそういった方向性で会が運営できればいいかなど、感想として思いました。

座長として非常に不慣れな、ふつつかな進行でしたが、本当に1年間ありがとうございました。また来期もよろしく願います。以上になります。

#### ○副座長

副座長を務めさせていただいた●●です。1年間、本当にお疲れさまでした。平井川というのはあきる野市の中でもシンボリックな存在ではないかと、私は思っております。そういう中でいろいろな立場の方が川の自然を楽しみながら、それを保全していこうという活動をされている方もいらっしゃるし、川そのものを利用されて水を利用されている方もいらっしゃいます。

それと同時に、行政側としてはその川を管理していくという部分がございますので、こういったいろいろな立場の方がそれぞれの意見を出し合って、いずれに

しても同じ思いのところは、とにかく川をきれいに守っていこう、そして後世につなげていこうというところではないかと思います。

また来期もぜひこういったメンバーの方にお集まりいただきながら、いろいろな意見をいただきながら、河川の整備も進めさせていただきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願ひしたいと思ひます。私ごとで恐縮ですが、4月から部署が替わる予定ですので、また違ったところでお世話になろうかと思ひますが、今後ともよろしくお願ひしたいと思ひます。ありがとうございました。

○座長                   ●●委員、お願ひします。

○市民委員           ●●です。どうもいろいろお世話になりました。先ほど言ったように、私は赤米やいろいろな古代米をつくっているということで、田んぼに水がないとお米がつかれないものですから、そんなかたちで参加させてもらいました。瀬戸岡御堂橋下流左岸の工事が昨日あたり終わったような感じですが、終わったという報告が今日なかったのが本当に残念だったけれども、毎日生懸命やっていたし、●●さんも道路を掃いてくれたり、きれいに工事していたというのを、毎朝あそこのところを通して観察させてもらったということで、平井川の連絡会の委員だということも含めて、工事の進捗状況も見させてもらいましたが、きれいに終わったような感じがします。以上です。

○座長                   ●●委員、お願ひします。

○市民委員           ●●と申します。私もこのところ2期続けてやらせていただいて、私は漁業組合の関係でお話をしているので、川が汚れていると釣り人も来ない。来なければ遊漁権の収入がなくなって魚は放せない、またお客が来ないという悪循環ですから、まず草を取り、ごみのない川をつくりたいと思ひて一生懸命やっています。

●●委員が申したように、うちのほうでは独自に年3回川清掃をやっていきます。先ほども言ったように、どうしたら減らすことができるのかということで、たまたまボーイスカウトの団員長を知っていたものだから、緑地にしたいのでやってくれないかと言ったら、「いいですよ、その代わり何もできないよ」。私は奉仕が目的だから、「いいですよ」と。

一番最初は2月頃にやってもらったのですが、その頃だと半ズボンで来るので子どもさんに風邪をひかせてしまうといけないから、動いていると温くなるから大丈夫ですと言いながらやってくれたのですが、それでも頼むほうは気が引けて5月頃にしてもらっています。一番最初は寒い頃にやってもらって、先ほども話したように西多摩新聞に掲載してもらっても一向に減らない。

河川管理の方をお願いしたいのですが、多西橋の下流も右岸側のごみを見てください。会社が上なものですから、反対側が交番で鰻屋だから、ごみを捨てやすいんです。先ほど言ったようにあきる野市の一斉清掃では、何回かあそこを掃除しているのですが、次の日に行ってもごみが捨てられている。町内会の人では手をつけられないんです。

草があって、その中に入ってしまうでしょう。そしてよく見ると、また入っていきます。それを順番にやっているものだから、少なくとも草はサッと刈ってしまっしてほしいと思っております。以上です。

○座長                    ありがとうございます。それでは●●さん。

○市民委員            ●●です。この1年間、当初は毎月のように会議を開かなければいけないかと思って心配していましたが、何回かの会議で済んで、しかも私は出られなかったのですが、オオブタクサということ、それから草刈りというのをお金をあまりかけないほうがいいという考えなので、草刈りを中心にどういったところでやっているかといろいろなところを調べてみたところ、あまり



お金は遣っていません。みんな町会でやるとか、ごく限られたところでの金しかやっていないということで安心したのですが、河川を管理する方に聞いたら、草刈りまでは届出もいらぬし、勝手にどんどん入ってもいいよということらしいので、河川の全体を掌握するという意味で、そういう情報が入りにくいようなことになっているのではないかと思います。

ですから、今回せつかくああいうことで場所が特定されたわけなので、何らかの方法で、それは規制もできないし、強制もできないのですが、何かうまく草を刈る人たちとのコミュニケーションを？手にするような、全体的に河川の管理を、この時期はこれでやっているとか、やる予定だというのがわかるようになれば、いろいろなところで役に立つのではないかと思います。

ということで、このところしばらく大水が出てきていないですね。一回大水が出ると川がきれいになるので、でかい洪水まではいかないけれども、ぎりぎりのところできれいに川を流してほしいと思いますが、とはいえ、最近広島でもそうだし、北陸でもいままでにないような大洪水も起こっています。そういうことで、依然として治水安全性というのは担保していかないといけないし、できるだけ早くそういったところの整備をしていく必要があるのかなと。

同時に、平井川は都内でも有数の自然環境が豊富なところなので、できるだけ自然環境等を確保しながら、やっていただきたいなと思います。設計あるいは工事の担当者もずいぶん努力されているようで、私も感激しております。今後ともよろしくお願いします。

○座長                   ありがとうございます。それでは●●委員、お願いします。

○市民委員           ●●です。今年初めて参加したのですが、何を目的にしているのか、僕もまだはつきりつかめないのですが、まず始めに工事関係の人たち、それから事務局並

びに議長さん、1年間ありがとうございました。

本当に勉強させていただいて、何点か私の勝手な疑問を。この平井川流域連絡会というのは連絡会で終わるのかなという感じもするし、オオブタクサの実行部隊かなと、あと検討委員会もあるのかなということで、そこらへんのところでこの連絡会をどうとらえていいのか私自身もわからないし、最初にやっていただいた平井川をどうやっていくんだ。ふるさとというか、自然に返すということだけですが、それに対して皆さんいろいろな立場で言われて、実際調整ができていないのかなという感じがします。

各団体でいろいろなことをされている。それをまずつかむべきかなというのが常に出てくるのですが、声を発すれば私もわかるのですが、ここに来られていない方も流域にいっぱいあると思います。先ほどから言っている自治会や地域でのいろいろなものがあると思います。もう一回そこらへんをつかめば、そこで要望しているものはもっと違ってくるかもしれません。ですから、そういうことをこれから先やってもらえればということをやっています。

いろいろ文句ばかり言っていますが、これをどうするのかは正直わかりませんが、いろいろ勉強させていただいてありがとうございました。

○座長            それでは●●委員、お願いします。

○市民委員    1年間いろいろとお世話になりました。8期の前半なので15年ということになるのでしょうか。最初の頃は本当に工事の話でもめていたというか、だったものが、先ほど課長さんが言われたように本当の意味での川づくり、平井川をつくっていくということで、一緒にオオブタクサを抜いたり、あるいは工事のときの保全のことについて話し合ったりというかたちに、8期まで来て変わってきたというのにすごく感慨深いものがある、やはり行政と市民が一緒になって川づくりをするというのが本当に大切なことだと実感しています。

ただ、その一方で、今日たまたま鯉川の上流、小宮久保橋上流の右岸は崖崩れの工事をされたのでしょうか。西建さんではなくて。

○市民委員 個人の工事現場です。

○市民委員 あそこは個人ですか。西建さんが生物調査を今年度出されているので、それはモニタリングなのかなと思っていたのですが。

○市民委員 対岸のところのちょっと奥からやっているところでしょうか？

○市民委員 滝山街道より少し中に入ったところで、個人でやっているんですか。

○市民委員 鯉川ではないんです。

○市民委員 川ではなくて、鯉川と滝山街道の間のところですか。

○市民委員 どうでもいい工事です。あそこがすごく水が出るんですか。

○市民委員 実は西建さんが鯉川の生物調査を出されていて、実はそこがトウキョウサンショウウオの産卵場所になっているので、そこが工事されるので。

○事務局 近いかもしれませんが、私どもで鯉川の砂防工事ということで、斜面に対する工事も今年度行っています。もう完了していますが。

○事務局 宅地というか、住宅になっているところのこっこの奥のあたりですよ。

○市民委員 道路からすぐ下の斜面です。

○事務局 上側ですよ。うちが工事しています。

○市民委員 そうですよ。それで、トウキョウサンショウウオの産卵場所になっているところで、今日見に行ってみたら、たぶん保全対策として水路をつくっていただいたと思いますが、水路はもう枯れていて、ちょっとしたたまりに一つだけしかありませんでした。すごくいい湿地だったところがなくなってしまったのかなと思って、たぶん崖崩れか何かがあるのでされる工事ということで、工事をするので生命、財産を守るという面と、自然を壊してしまうというのはいつもせめぎ合いなのですが、ちょっと残念に思いました。私もうっかりしていて、もうちょっときちんと場所などを確認して保全対策をお願いすればよかったかなと思ったので、やはり工事というのはそういうリスクを背負っているものだなと改めて思いました。

なので、これからも流域連絡会の中でいろいろ意見交換しながら、工事の必要性、工事をするのであればどんな工事をするのがいいのか、そのへんの意見交換がすごく大事だなと思っています。来期もよろしくお願いします。

○座長 よろしく申し上げます。それでは●●委員。

○市民委員 今期からお世話になっている●●と申します。ふだん活動しているのが？大久野の山の中なので、やはりこちらの川の流域となるとどうしてもピンと来ないというのがあって、いつもずっと聞いているだけという感じで申しわけないのですが、最初の頃に話が出ていた、昔に比べて川の水が少なくなっているというのは、やはり山と川はつながっているなと思うのは、大久野の山のほうに行くともう個人では管理しきれない山が多くなっているのもう放ったらかしで手も入らなくて真っ暗になっているので、やはりそういうのも大きく影響しているのだなと思いながら、ふだんは活動しています。

後期もたぶんピンと来なくて聞いているばかりかもしれませんが、よろしくお願いします。

○座長                    どうもありがとうございます。河川部さん。

○行政委員            河川部計画課係長をやっている●●と申します。今期なかなか出席させていただく機会が少なくて、担当を含めてちょっと出席ができない場合もあったりして、大変ご迷惑をおかけしたところです。

久々に出席させていただいて、外来種の対策や工事に対するもの、また川の中での活動といったことについての情報交換が非常に大事なことかなと思っております。また、いろいろな方々のご意見を集約していい方向に持っていくということで、流連の重要性をまた非常に大切に思っているところです。また、私は多摩地域の河川をたくさん担当しているのですが、平井川というのは先ほどもお話があった通り、都内でも有数の生物の宝庫という中で工事をしていて、いろいろな川のモデルケースにもなるかと思うので、いろいろと情報を収集して今後の川づくりに活かしていければなと思っております。今日はどうもありがとうございました。

○座長                    どうもありがとうございました。

○行政委員            環境政策課の●●と申します。1年間、本当にありがとうございました。私も自然環境の保全を担当しているので、安全な川づくりをしながら環境保全をしていくというために、官民一体となった立ち会いができるということは非常にいいことかなと思っております。引き続き平井川の自然環境を保全しながら、外来種対策もしながら、後世に伝えられるような川づくりをお願いしたいと思います。またよろしくお願いします。

先ほどの鯉川の関係も事前に説明をいただいて、現地の調査をしたり、また事後にも確認をしていただいて、やはり水はちょっと少ないのですが、今後経過を

見て行こうかなと思っています。よろしくお願いします。

○座長            どうもありがとうございます。

○行政委員        西建管理課の●●です。1年参加させていただいて、いろいろな面がある川だなというのを再認識させていただきました。きちんとした整備計画があるということと、一方で豊かな自然がまだ残っている。また、農業や漁業という産業を支えているという、本当に川はたくさんありますが、これだけいろいろな性格を持っていた川は、都内にも少ないのかなと思います。

また、治水や環境、利用ということで、人によって何が大事かというのは違うかと思いますが、東京都、河川管理者としては考え方がありますが、一方で川は地域の皆さんや都民の方の共通の財産という側面があるので、皆さんがどういう考えをお持ちかというのを聞かせていただいて、本当に勉強になりました。また、草が伸びているとか、ごみを捨てるということで、なかなか限られた予算の中で至らないところがたくさんあると思いますが、皆さんのお力を借りてよりよい平井川にしていきたいと思います。

おそらく異動はないと思いますので、来期も引き続きよろしく願いいたします。

○座長            ありがとうございます。それでは一通り皆さんの感想もいただきました。ほかに何かございますか。

○市民委員        先ほどのこれを見せてもらったら、菅瀬橋から御堂堰までです。そうするとそれより下、工事が終わった上流はそのあとということですか。

○事務局           いや、来年度入らせていただきます。

○市民委員        それはまだ予定表は出ていないということですか。

○事務局 三つ前ぐらいの委員会で、第2回の小委員会で、27年度整備工事のお話はしています。11月に行った会議です。

○市民委員 27年度は？小宮会館の前あたりも工事をしてもらえるということですか。

○事務局 来年度入る予定にはなっています。

○市民委員 たとえば小宮会館の前に階段がほしいとか、いつも漁協さんが小宮会館を使って、本部にして、川掃除をやっています。御堂堰の上の本堰のところに階段があるのですが、もっと下のほうに階段をつけてもらいたいとか、瀬戸岡御堂橋の下を通れるようにするという話も聞いたのですが、そこからこっちのほうの話を聞き漏らしたかどうかわからないのですが、聞いていないものだから。

○事務局 通すという話と同じ年です。

○市民委員 資料にあるのですか。

○事務局 はい。

○市民委員 では、一応そんなことで、あそこは小宮の町内会が草刈りを年二、三回必ずやっています。そうするとあまり丈の高い草は生やしてもらいたくないとか、今度「五日市物語」の続編で映画をやるのですが、その撮影地になって東京新聞に出たとか、すごく景観のいいところなので、ぜひそういったことも考慮していただければと思います。

では、27年度にそこにかかるということで、下の堰をぶっ壊すのと同じときにやるんですか。

○事務局 そうです。その工事の一環で、護岸工事もやらせていただくというかたちです。

- 市民委員 わかりました。ではまた、次のときに要望を。
- 座長 先ほどの前期の活動についてということで議事があったと思いますが、今年度も26年6月24日に、26年度の工事のご説明をさせていただいているので、また来期、27年度は6月の初回のときに、27年度の工事について詳細なご説明をさせていただきます。
- 市民委員 今年度も、最初のときに工事の完了現場をずっと歩いて、それからスタートしました。何らかのかたちで、今年度完了した場所を来年の6月の全体会の絡みで、ちょっと見られたらいいなと思いますが、現場にあまり行っていないので申しわけないのですが、要望としてお願いというか、できたらなど。
- 座長 それも要望させていただきます。
- 事務局 今年度？
- 市民委員 今年度の最初の頃に見たんだよね。終わったところをずっと見ようということで。
- 事務局 前期のときに、現場を歩きましょうかというご提案をしたのですが、行く必要はないよと言われたと思います。
- 市民委員 そんなことを言ったの？
- 座長 今年度はたしかに現場は……。一昨年、25年度はたしか夏の暑いときに現地、まさに観音橋のあたりや何か所か現場を歩いたりしましたが、今年度はなかったのではないですか。
- 市民委員 御堂橋の上流を歩きましたよね。



- 座長           あれは 25 年度ではないですか。
- 事務局           最初の全体会の際に、現場に行くのはどうですか  
とご提案したのですが、行く必要はないからと。
- 市民委員       私がそう言いましたか。(笑) 上流を歩いた記憶があ  
るんだよね。
- 事務局           あれは 8 月 30 日のオオブタクサの。
- 市民委員       間違えた。頭がいいかげんですみません。
- 市民委員       この席になじむかどうかはわかりませんが、平井川  
の砂利はどうにかして外に出すことはできないのです  
か。どこかの人の話だと、入れることも出すこともで  
きるという話を聞いたことがあります。
- 座長           ちょっと聞いた話ですが、たとえば川の砂利を採取  
して建設の骨材に使うといったことで、川の砂利をと  
るということは、もちろんそういった手続きなり許可  
なりが必要ですが、その条件があれば可能だと思います。
- 市民委員       現実に、21 日にマス釣りの解禁をしたでしょう。福  
生の方は 100 匹ぐらい釣ったよね。うちのほうは 20 匹  
ぐらいしか釣れないと言っていた。浅いから、魚が集  
まる場所がないんです。だから、雨が続いてしまう  
ならあれ以上深くはならないのかもしれませんが、もう少し  
川を深くしてもらおうとかそのへんを考えてもらって、  
魚が隠れてすめるような構造でつくってもらいたいと  
思います。
- 先ほど草刈りの話をしましたが、21 日に？ツルヨシ  
の枯れたところのツルが伸びているところに子どもが  
入り込んでいるのだから。その前も刈ろうかと言っ  
ていたのですが、時間がなくて枯れなかったのですが、  
それとその川が浅くなってしまっていますから、水深  
が 20～30cm しかないから、だいたいこんなもんですよ

ね。せめて1 mぐらいはないとね。だから、どこかに砂利を持っていってもらえないかと。

○座長 先ほどの話では、砂利を掘りたいという人がいれば、条件が合えばとってかまわないということです。

○市民委員 でも、平井川は全体的に浅いからね。日の出のほうに行くと、川に水がないところがあります。みんな下に入ってしまったています。あれを何とかもう少し改善してもらわないと、水がなくなった、水がなくなった、少なくなったというだけでは、いい川にはならないと思う。

○座長 一朝一夕にはいかないと思いますが。

○市民委員 それは当然いきません。だから、何とかしないとということだから。先ほど●●さんが言ったように、水が少なくなってきて、昔は沢がガンガン流っていたけど、いまはチョロチョロしか流れていない。特に尾崎あたりは、あそこの上の霊園ができてきたら水が全然出てこないという話も聞いているので、そのへんでいまのうちに手をつけて対策をしないと、将来まったく水が出なくなる。

だから本当に何とか砂利を、大きな石があればその中に魚もすめるし、川辺や何かに残るのですが、いまのままでは川の中に潜れないからね。やっと潜って食べているような感じだからね。鯉川の話も出ましたが、昔はあんなところにカワウは入りませんでした。それが、水がいっぱいあるのにあそこに入っています。氷沢川もそうです。

氷沢川も人が入らないようにしているので、人もいないからでしょうが、氷沢橋の上に1 mぐらいの水深のところがあります。そこに雑魚が200ぐらいいた。カワウが二羽来たら、一日でなくなった。だからあの石をもう少し何とかして、水深がある川にならないかなと。いま工事するためにやったら、川は蛇行がない

でしょう。よけい沢が少なくなってしまう。いま、雑魚を釣りに来る人はあまりいません。砂利の何とかを考えてください。

○座長            ちよつとここでは。(笑)

○市民委員        即答を考えているわけではないですから。

○座長            ご意見をいただいたということで。それではまだ時間がありますが、その他を含めて今日の議題は終わりましたので、今年度第8期の第3回の全体会を終わらせていただきます。今日はありがとうございました。